

総持寺通り通信



第6号

総持寺通り商店街発行



特産品などを求めにぎわう食まつり会場＝門前総合支所前



「輪島祭り太鼓」の元気いっぱいの演奏

市民まつり開催



一服の煎茶を楽しむ来場者

演奏、食まつりに笑顔広がる

輪島市民まつり2009は6月6、7日の両日開かれ、総持寺会場では、6日に第12回夕やけ笑劇場「桂文珍独演会」がまんだら村芸術工房「テラ」で、7日は総持寺通りで食まつりや禅の里交流ステーション・パレード、クラシックカー車両展示、「座禅と法話」、茶会、生け花展などが繰り広げられました。当日は、曇り空だったものの、躍動感のある演技や門前そばなどの特産品販売が行われ、終日、家族連れらの笑顔が広がりました。

▼ 禅の里交流館で潤いのひととき ▲

クラシックカーに熱い視線が集まった



座禅と法話
座禅の後、総持寺の僧侶から法話を聞く参加者

音楽パレード 息合わせ元気良く



門前東小学校



門前中学校



保育所園児



門前西小学校

門前町地内の小中学校生と園児が熱演

7日の市民まつりは、音楽パレードで幕を開けました。ドラマ主題歌「キセキ」を軽快に演奏する門前中学校を先頭に、門前西小学校、門前東小学校の演奏が続きました。最後に、母親に伴われた町内保育所園児が行進、沿道の家族がかわいらしい姿を熱心にカメラやビデオに納めていました。

桂文珍らの話芸楽しむ

第12回夕やけ笑劇場「桂文珍独演



まんだら村で夕やけ笑劇場

会」が開かれたまんだら村芸術工房「テラ」では、市民ら約500人が訪れ、文珍らの卓越した話芸を楽しみました。

文珍は生まれ故郷と同様の思いを寄せる輪島地区でのエピソードを織り交ぜながら、軽快な話術で観客を引きつけました。

このほか、若手お笑い芸人として人気上昇中のティーアップや桂楽珍らが出演、それぞれ得意の持ちネタを披露し、舞台を盛り上げました。

舞台を楽しむ来場者

門前の魅力届けます

ファン倶楽部 近く発足

門前ファン倶楽部が近く発足します。門前を愛する、あるいは、応援したいという人のネットワークをつくろうという狙いです。入会時は、特産のそば（乾麺）や禅の里交流館の入場券、会報、総持寺パンフレット、会員証等を贈らせていただきます。入会金は千円。

会報は年4回発行することになっており、門前町地内の見どころや、イベント、季節の話題、出来事などを掲載する予定です。

事務局（町商工会）では会員を随時受け付けており、入会希望の方をご紹介していただければ幸いです。

お問合せ、連絡先

TEL 0768-42-0360

編集後記 編集部では、総持寺通り商店街や門前町地内の話題を求めています。何かありましたら、お気軽にご連絡ください。(H)